

地域交通DX推進プロジェクト「COMmmmmONS(コモンズ)」 2025年度の実施成果について

総合政策局 公共交通政策部門

COMmmONS(コモンズ) : Code for Mobility Common Societyの略称。
デジタルの力によってすべての人がアクセス可能な共通のモビリティ基盤を創り出していくというプロジェクトのコンセプトが込められています。

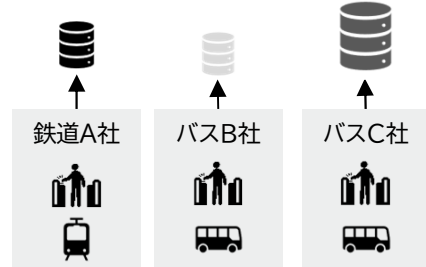
地域交通の連携・協働の課題となる様々な「サイロ」(個別最適化)

- 我が国の地域交通では、MaaSアプリや配車アプリなど、デジタル技術を活用したモビリティサービスの高度化は一定程度普及したものの、アプリやデータ、業務プロセスなどがそれぞれで発展し、連携していない「サイロ化」(個別最適化)が発生。
- 「交通空白」解消に向けて地域交通の連携・協働をさらに深めていく新たなフェーズにおいては、先進技術の導入やデータ連携に向けた環境整備を促進することが必要。

配車アプリやMaaSアプリが乱立し、ワンストップ化されていない



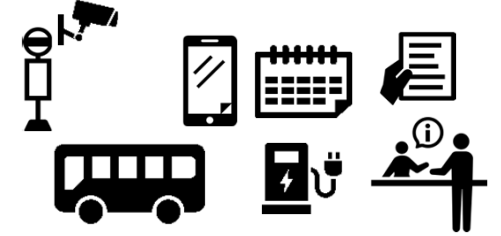
事業者ごとにデータがバラバラ
地域横断のデータ分析ができない



データに基づく地域公共交通計画
アップデートのための汎用手法が不足



業務の方法が事業者ごとにバラバラ
であり、経営統合や協業が難しい



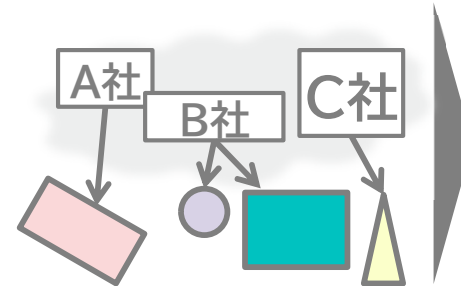
地域交通DX推進プロジェクト「コモンズ」の新たな取組

- 地域交通における「サイロ化」(個別最適化)の問題に対処するため、地域交通DX推進プロジェクト「コモンズ」を2025年度からスタート。
- 地域交通法の改正とも連動し、共同化・協業化や輸送資源のフル活用などをデジタル活用の観点から推進するため、以下の取組などを実施。
 - ① ダイヤ編成や運行管理等のバス業務の標準化
 - ② 施設送迎車両の共同管理システムの提供
 - ③ 交通データの標準化とデータ分析ツールの開発 等

ダイヤ編成や運行管理等のバス業務の標準化のイメージ

<現状>

バラバラな後方業務



<目指す姿>

標準モデルに
準拠した形に変革



形や色や大きさを統一することで、
業務連携がスムーズに

業務連携する際のコスト大

⇒ 地域交通の生産性向上

地域交通法改正と連動して実施した commons のプロジェクト

共同化・協業化の推進 | ダイヤ編成や運行管理等のバス業務の標準化

- バス業界では、ダイヤ編成、運行管理、勤務管理などの後方業務を各社が独自に構築。
- 自動運転の本格導入も見据え、業務とシステムを標準化し、各社が共通のシステムを使ったり、業務を統合できる環境が必要。



後方業務には未だ紙管理も存在

- 国がバスの後方業務プロセス及びシステムの標準仕様を策定。
- この標準仕様を普及させることにより、システムコスト削減、無駄な回送の削減などの運行最適化、自動運転等のシステムの効果最大化などを実現。



データに基づく
運行管理が可能に

輸送資源のフル活用に必要な環境整備 | 施設送迎車両の共同管理システムの提供

- 学校のスクールバスや病院の送迎車両などを公共ライドシェア等と組み合わせ地域全体でフル活用するには、複数の施設が連携した車両管理が必要。



某介護施設における
ホワイトボード上の管理

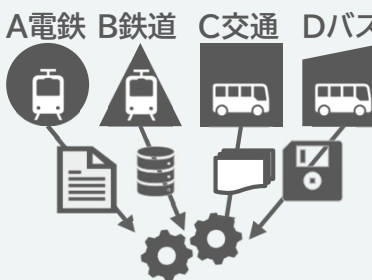
- 国がバスの後方業務プロセス及びシステムの標準仕様を策定。
- この標準仕様を普及させることにより、システムコスト削減、無駄な回送の削減などの運行最適化、自動運転等のシステムの効果最大化などを実現。



簡単な操作で
送迎管理が可能

地域公共交通計画の高度化の実現 | 交通データの標準化とデータ分析ツールの開発

- 交通データは事業者やシステムごとにバラバラになっており、自治体でデータを統合して活用することが難しい。
- 自治体職員が扱えるデータ分析ツールが乏しく、コンサル外注に依存する傾向。



変換が必須でコストが大

- 国が交通データの標準仕様を策定。あわせて、様々なデータを自治体において簡単に扱えるデータ分析ツールを開発。
- データ活用環境の整備により、自治体が作成する地域公共交通計画を飛躍的に高度化。



データ分析ツール
「LINKS Mobilys」

2025年度 標準仕様、標準業務モデルを策定し、ドキュメントを公開

2026.03.31 報道発表

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

COMmmONS

令和8年3月31日
総合政策局
モビリティサービス推進課

地域交通 DX 推進プロジェクト「COMmmONS（コムズ）」
2025年度の実績を公開します！

「交通空白」の解消などの課題解決に向け、地域交通におけるデジタル活用の標準化を進める地域交通 DX 推進プロジェクト「COMmmONS（コムズ）」の取組として、2025年度の成果である13本の標準ドキュメント等を公開します。

我が国の地域交通では、MaaS アプリや配車アプリなど、デジタル技術を活用したモビリティサービスの高度化は一定程度普及したものの、アプリやデータ、業務プロセスなどがそれぞれで発展し、連携していない「サイロ化」（過度な分化）が発生しています。

「交通空白」解消に向けて地域交通の連携・協働をさらに深めていく新たなフェーズにおいては、「サイロ化」を打破する施策が必要となります。

国土交通省では、地域交通の「サイロ化」（過度な分化）の問題に対処し、地域交通の連携・協働をデジタル技術活用の観点から推進するため、地域交通 DX 推進プロジェクト「コムズ」を2025年度からスタートしたところです。

コムズでは、地域交通の連携・協働をさらに深めていくための社会共通の技術基盤として、事業者ごとにバラバラになっているシステム、データ、業務等が連携するための標準化を推進します。

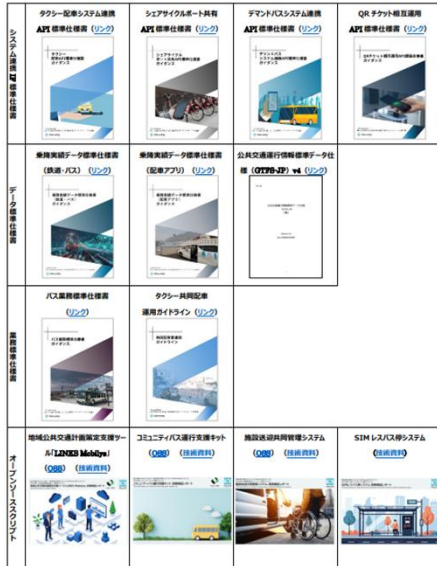
今般、プロジェクト初年度（2025年度）の成果として、業務、サービス、システム、データ等の13のテーマで標準ドキュメントを策定しました。標準ドキュメントには、業務連携をスムーズにするためのシステム連携仕様、データ仕様、オープンソースコード、業務要件・システム要件定義等が含まれます。

これらの取組は令和8年3月10日に閣議決定された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案」と連動しています。

共同化・協業化や地域の輸送資源のフル活用等をデジタル活用の観点から推進するアセットを提供することで、「交通空白」を解消するとともに、その将来的な発生を抑制し、持続可能な地域公共交通の実現を図ってまいります。

2026年度も、2025年度の標準化成果物のアップデート及び普及のほか、共同化・協業化、地域の輸送資源のフル活用等を推進するためのDX施策の推進を引き続き進めてまいります。

【標準ドキュメント群「COMmmONS Documents」一覧】



https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000511.html

2026年度 標準仕様、標準業務モデルの導入に取り組む事業を支援

2026.04.10 報道発表

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

COMmmONS

令和8年4月10日
総合政策局
モビリティサービス推進課

地域交通のDX推進に向けた支援を実施します！
～令和8年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」
地域交通DX推進タイプの選定について～

国土交通省では、「交通空白」解消など「リ・デザイン」の全面展開を進めるため、事業者・事業者の連携・協働により複数のモビリティデータの統合及び活用や国の定める標準仕様に基づくシステム統合、標準業務モデルの導入など、デジタル技術を活用した高度サービスの実装を支援しています。

令和8年度では、全国28事業を支援対象として選定しました。

○令和8年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」は、喫緊の課題として取り組む「交通空白」の解消のため、地域の多様な関係者が連携・協働した取組など、地域交通の持続・活性化を図る事業を支援するものです。

○「地域交通DX推進タイプ」は、デジタル技術活用による事業者・地域分野連携を推進し、持続可能な地域交通の実現を図る取組を対象とします。

○国土交通省では、事業者・事業者の連携・協働により複数のモビリティデータの統合及び活用や国の定める標準仕様に基づくシステム統合、標準業務モデルの導入など、デジタル技術を活用した高度サービスの実装を推進することで、「移動の足」の確保や外し機費削減、公共交通分担率向上など持続可能な地域交通の実現を推進していきます。

<問合せ先>
総合政策局 モビリティサービス推進課 水口、森田、瀬吉
TEL：03-5253-8111（内線54914、54906、54909）、03-5253-8980（直通）
Mail：hqt-mobilityservice002@mlit.go.jp
（メール送信の際は「■」を「@」に置き換えてください）

<別紙：選定事業一覧>

No.	事業名	事業内容	実施地域
1	株式会社コムズ	近郊圏域ライドシェアとMaaSプラットフォームを統合したMaaSプラットフォーム構築	埼玉県熊谷市
2	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
3	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
4	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
5	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
6	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
7	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
8	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
9	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
10	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
11	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
12	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
13	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
14	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
15	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
16	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
17	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
18	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
19	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
20	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
21	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
22	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
23	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
24	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
25	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
26	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
27	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市
28	株式会社地域交通DX	地域交通DX推進型「交通空白」解消に向けた地域交通連携推進事業	東京都中央区、横浜市、札幌市

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000512.html